



# 発表資料作成のポイント スライド & ポスター


# 発表資料作成のポイント -概論-

どんなに素晴らしい内容であっても  
見にくければ伝わらない!!

**KISS**の原則 : Keep it short and simple = 短く・単純に!!

- ✓ 見やすく
- ✓ 文字を少なく
- ✓ 端的に
- ✓ 参加者に伝えることを意識
- ✓ 文字の羅列・文章の記述は良くない etc...

# 発表資料作成のポイント -Table of contents-

- 
- ✓ 発表資料のサイズ
  - ✓ フォント・文字サイズ
  - ✓ 背景・色合い
  - ✓ 構成 -研究発表 & 症例報告-

- ✓ 各ページでのポイント
  - ・タイトルページ
  - ・背景
  - ・目的
  - ・方法 (+表作成)
  - ・結果 (+グラフ作成)
  - ・考察
  - ・まとめ,結論

- ✓ 症例報告各ページでのポイント
  - ・はじめに
  - ・症例紹介,評価
  - ・動作評価,治療内容
  - ・考察

- ✓ その他 (改行, COI, 注意点)

- ✓ ポスター作成

- ✓ 引用文献の書き方

- ✓ 作成手順, 上手になるために

- ✓ 作成スケジュール

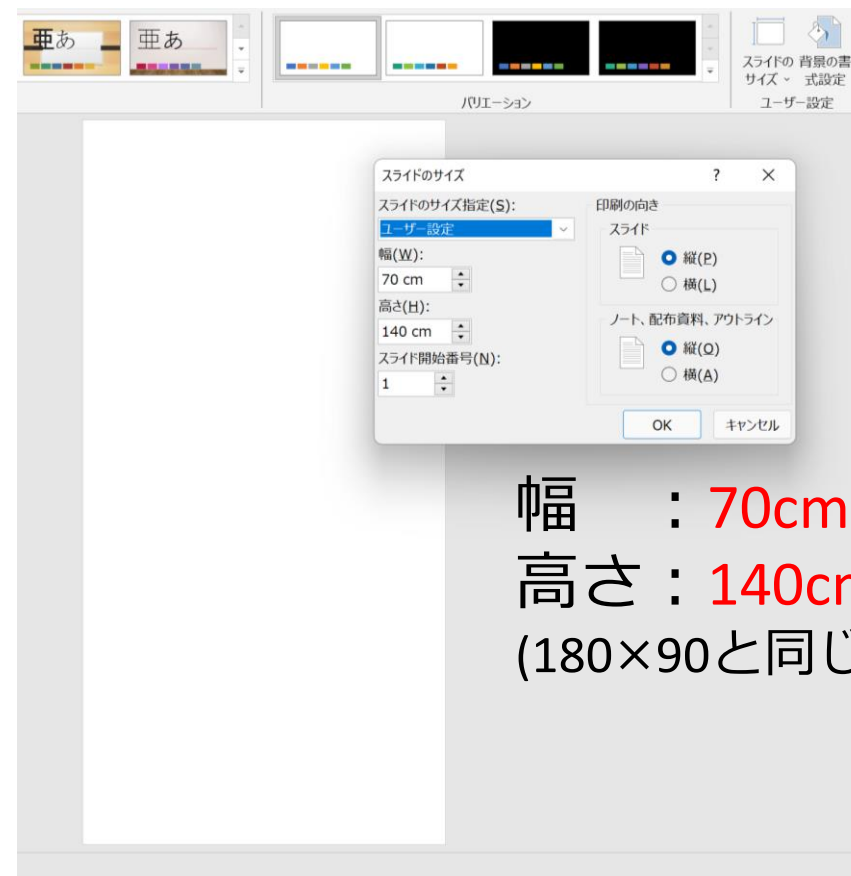
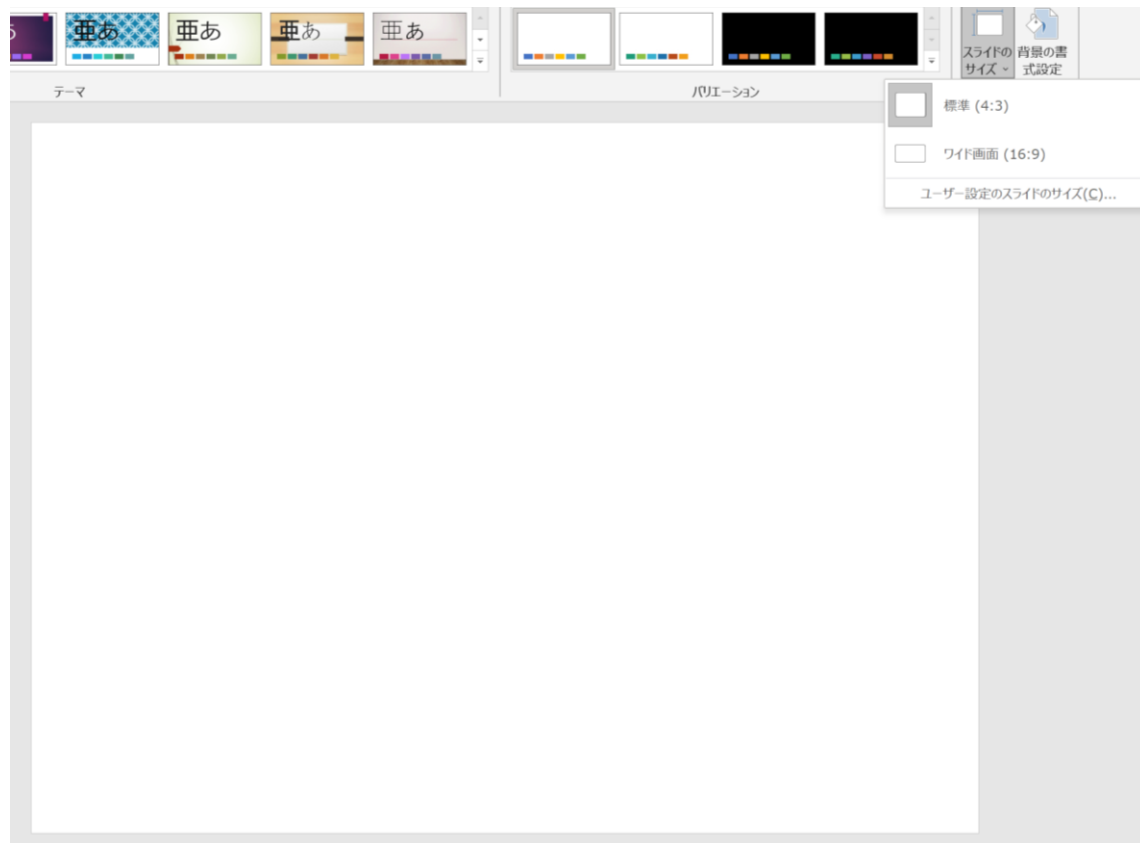
- ✓ チェック方法

- 
- ✓ 準備委員長からの一言

# 本学会既定の発表資料サイズ

スライド：標準(4:3)

ポスター：180cm×90cm (縦)



幅：70cm  
高さ：140cm に設定  
(180×90と同じ縮尺)

サイズを設定してから資料作成を進めていく

# フォントのポイント

✓ フォントは統一すること (混在すると見にくい...)

✓ おススメフォント

日本語：「MS Pゴシック」 or 「メイリオ」

英 語：「Century」 or 「Calibri」 etc...

※指定(強制)ではありません。

✓ 文字を小さくしすぎない(小さいと会場では見えない = 伝わらない)

## スライド

最低：24ポイント

理想：28 or 32ポイント

タイトルや表題はもっと大きく

## ポスター

タイトル：70～90ポイント

見出し：60～70ポイント

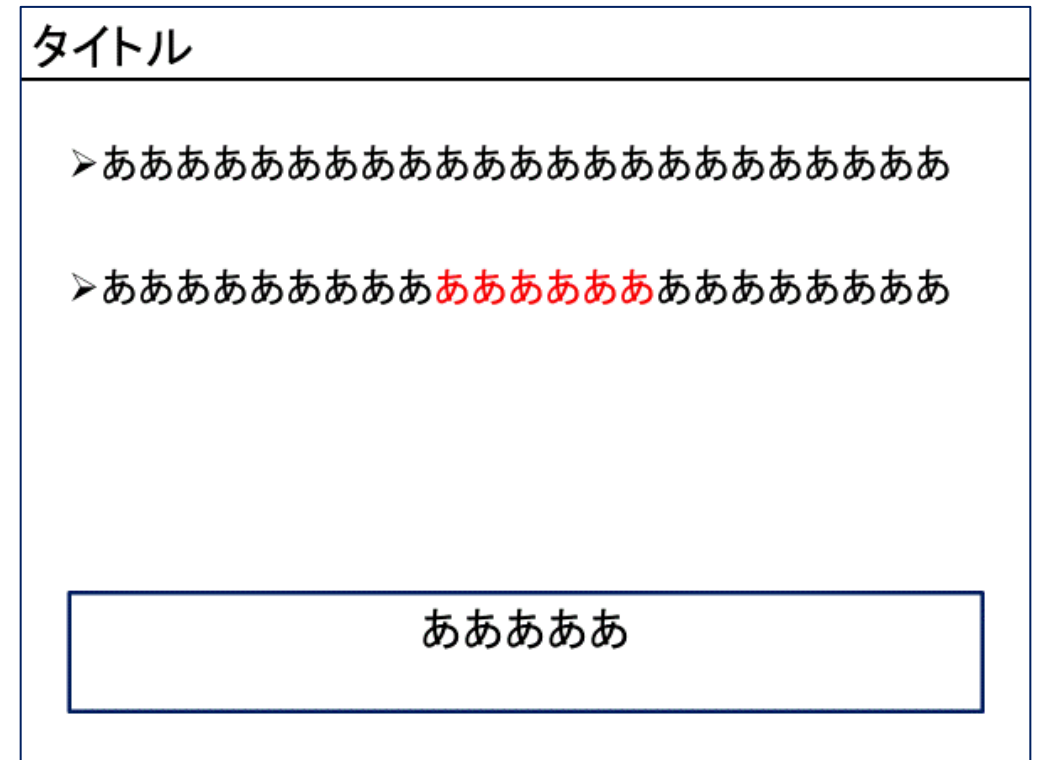
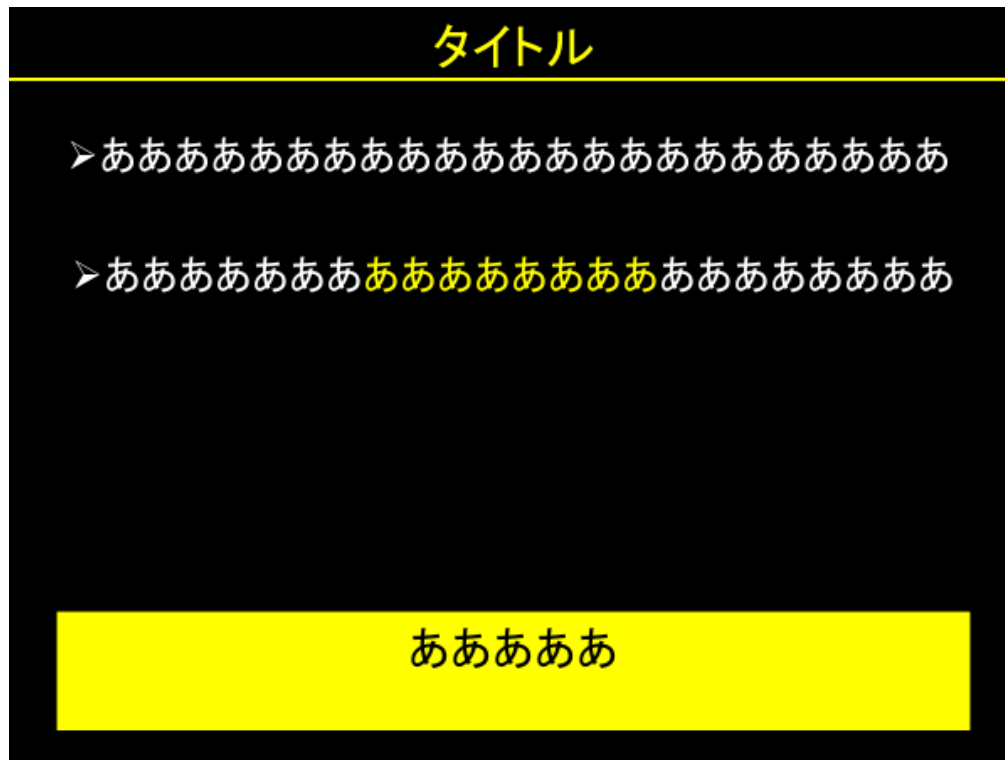
本 文：32～40ポイント

# 背景・色合いのポイント

## ✓ スライドデザイン (以下の2パターンが無難)

パターン1: 背景色 ⇒ 黒or濃い青  
テキスト ⇒ 白or黄色

パターン2: 背景色 ⇒ 白  
テキスト ⇒ 黒or濃い青



色の数は3色程度に留めて使い分けることが無難

# 資料内容のポイント



演題登録した抄録内容に沿って作成する

※大幅に異なるは良くない...

# 構成のポイント -研究発表-

タイトルページ

1枚

COIの開示

1枚

背景

2-3枚

目的・(仮説)

1枚

方法

2-3枚

結果

2-3枚

考察

2-3枚

限界

1枚

まとめ・結論

1枚

謝辞

1枚

- ✓ 1スライド30～60秒程度
- ✓ 10～15枚程度のスライド数が無難



# 構成のポイント -症例報告-

タイトルページ

1枚

COIの開示

1枚

はじめに

1枚

症例紹介

1-2枚

初回評価

1-2枚

問題点・プログラム

1-2枚

治療経過

1-2枚

最終評価

1-2枚

考察

1-2枚

まとめ

1枚

謝辞

1枚

日本理学療法士協会「症例検討会 発表にあたって -第1版-」を参考に作成

# タイトルページ作成のポイント

病院や大学のロゴを  
入れるとカッコいい!?



2022/7/3 (日)  
第34回大阪府理学療法学術大会

学会名や演題番号を記載してもいい

抄録の書き方講座開催を振り返って  
～有用性と今後の課題～

タイトル: 真ん中に配置する  
改行の際は要注意

名前と所属を記載

稲田竜太<sup>1)</sup> 知花朝恒<sup>1)</sup> 植田耕造<sup>2)</sup> 松木明好<sup>3)</sup>

- 1)第34回大阪府理学療法学術大会 学術局 企画部
- 2)第34回大阪府理学療法学術大会 学術局 局長
- 3)第34回大阪府理学療法学術大会 大会長

見やすくカッコいいタイトルページを意識することがポイント

# 背景作成のポイント

- ✓ 先行研究を元に明らかにになっていることを記述する
- ✓ 明らかにになっていないこと、取り組むべきことを強調して示す

## 背景

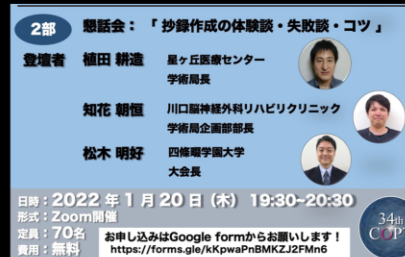
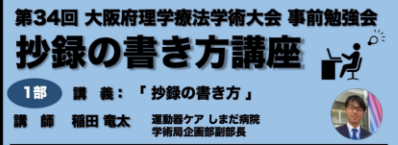
➤ 初めての抄録作成に苦勞する若手理学療法士は多い

大阪ら, 理学療法学 2022

➤ 抄録作成について学ぶ機会は少ない

大阪ら, 理学療法学 2021

演題数増加および若手理学療法士への情報提供を目的に  
事前勉強会として**抄録の書き方講座**を開催した

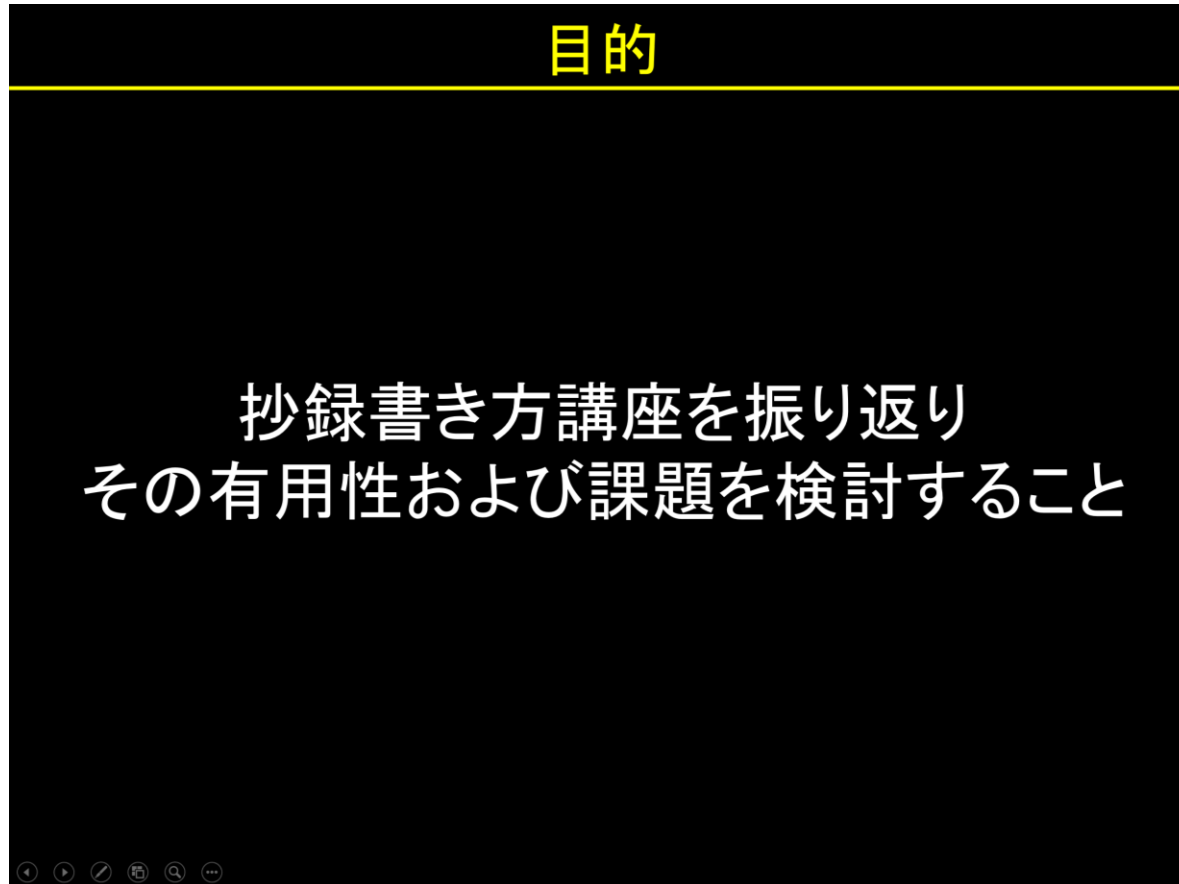


抄録書き方講座の有用性および課題を  
振り返る必要がある

「目的」につなげる  
ストーリーを意識する

# 目的(+仮説)作成のポイント

## ✓ 目的を明確に示す



## ✓ 必要に応じて仮説の記載も

「目的」はシンプルに明確に  
1枚のスライドに大きく示す

# 方法作成のポイント

## Step5-2-2) いよいよ本文へ-研究報告-

### 【方法】

- ✓ 対象者を明確に示す
  - ・ 対象者数
  - ・ 年齢、性別などの基本情報
  - ・ 本研究に必要な対象者情報
  - ・ 包含基準や除外基準 など
- ✓ 何を調査・評価したのか?
  - ・ 調査内容
  - ・ 評価項目
  - ・ 調査、評価時期などを示す
  - ・ それぞれの調査、評価方法の説明
- ✓ 解析方法について
  - ・ 群分けや比較対象についての説明
  - ・ 統計方法、有意水準について

必要最低限の情報を記述し、何をしたのかを伝えることが大切

- 抄録作成で示したことを分かりやすく示す
- 実験方法・計測方法は再現できるかを意識する

### 方法

開催日: 2020年1月20日 (木)  
開催方法: オンライン開催 (Zoomを使用)

#### 講座内容:

- 第1部 講義 「抄録の書き方」
- 第2部 懇話会 「抄録作成の体験談・失敗談・コツ」

#### 検討項目:

- ✓ 参加者人数
- ✓ 参加者経験年数
- ✓ 参加者の勤務地 (大阪 or その他)
- ✓ 勉強会の満足度

表や写真などを上手に使うことがポイント

# 表作成のポイント

## パターン1

	A群	B群	p値
症例数	25	30	
年齢	20.0	21.5	n.s.
性別	男15 女10	男5 女25	< 0.05

- ✓ おすすめはパターン2の表
- ✓ 罫線は最小限で (特に縦は不要)
- ✓ 単位の記載は必須

## パターン2

	A群	B群	p値
症例数	25	30	
年齢 (歳)	20.0±1.5	21.5±1.0	n.s.
性別 男/女	15/10	5/25	< 0.05
(%男性)	(60.0%)	(16.7%)	

- ✓ 平均値の場合は標準偏差も記載 (中央値の場合は最小値と最大値)
- ✓ 表の中には極力数字のみ
- ✓ 必要に応じて割合の表記も

見やすく分かりやすい表の作成を心がける

# 結果作成のポイント

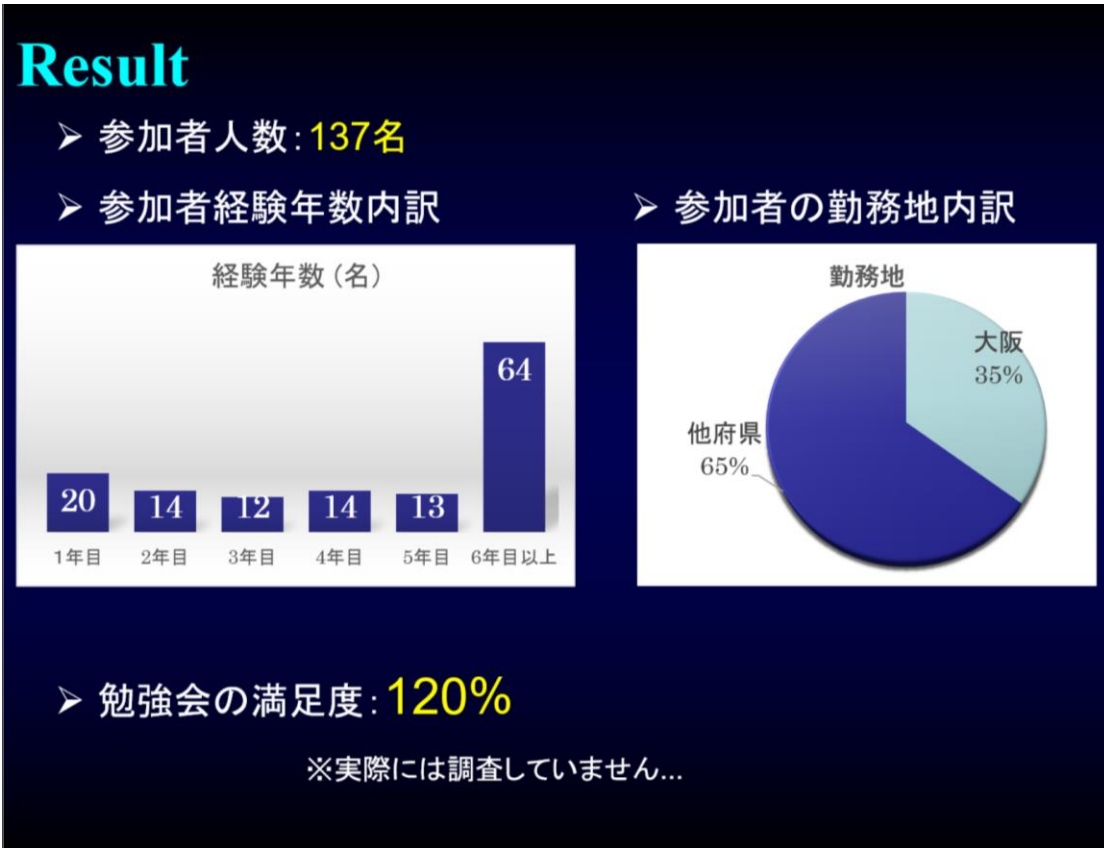
- ✓ 数字の羅列ではなく表やグラフを上手に使用する
- ✓ 平均値±標準偏差は基本的には表を使用するのが無難
- ✓ 結果の内容に応じて適切な種類のグラフを使用する

折れ線グラフ	結果の推移や経時的な変化を示すときなど
散布図	相関関係を示すとき
棒グラフ	平均値や中央値、内訳などを示すとき
円グラフ	割合を示すとき (あまり推奨されていない!?)

結果を正確に視覚的にも分かりやすく示すことが重要

# グラフのポイント

✓ 結果の内容に応じて適切な種類のグラフを使用する



- ✓ グラフのタイトルは重要
- ✓ 単位は必須
- ✓ 色合いには配慮を
- ✓ グラフ内の文字の大きさに注意
- ✓ カッコよさも大切に etc...

見やすく分かりやすいグラフを意識する



# 考察作成のポイント

➤ 抄録では十分に示していない部分!?

➤ 結果に対する考察

「なぜそうなったのか!？」  
「先行研究との比較」  
「結果の解釈」                      などを示す

➤ 先行研究を上手に引用する

Step5-2-4) いよいよ本文へ -研究報告-

【結論】

- ✓ 研究結果から何が言えるのか
- ✓ 研究目的に対する返答を記述する
- ✓ メッセージを明確に示す
- ✓ 詳細な考察は発表時でもいいかも...

結果をどう解釈したのかを伝えることが大切

考察部分が最も難しい部分の一つ!?

# まとめ・結論作成のポイント

✓ 何をしてどうだったのかを示す

✓ メッセージを端的に示す


Conclusion

まとめ

- 事前勉強会として抄録の書き方講座を開催した。
- 参加者は137名と多くの方に参加していただいた。
- 6年目以上の方々の参加も多く、抄録の書き方講座の需要の高さが明らかとなった。
- 大阪府外からも多くの方に参加していただいた。
- 満足度は100%越えあり講座の開催は有用であった。

まとめ

抄録の書き方講座の開催は有用であった



34th  
COPT

発表の時はしっかり読む!!  
(「まとめはスライドの通りです」はあまりよくない...)

# 症例報告 -はじめに- のポイント

## ✓ 症例報告の背景をしっかりと示すことが重要

あまりよくないパターン...

はじめに

- ✓ 人工膝関節全置換術後の症例において階段昇降獲得に難渋する症例を経験した。
- ✓ 階段昇降獲得に向けて、**膝伸展角速度**に着目し評価・治療することで階段昇降の獲得に至ったため報告する。

背景が良く分からない...

推奨パターン

はじめに

- 階段昇降獲得は人工膝関節全置換術後に難渋するADL動作の1つである。  
大阪ら, 大阪理学療法 2019

- 階段昇降の獲得には膝伸展筋力の向上が重要  
大阪ら, 大阪理学療法 2018

しかし、膝伸展筋力が十分に向上しても階段昇降の獲得に至らない症例を経験することがある



今回、**膝伸展角速度**に着目し評価・治療することで階段昇降獲得に至った人工膝全置換術症例を経験したので報告する

今回の症例を報告する意義・ストーリーを示す

※スライドの内容は架空のものです

# 症例紹介・評価作成のポイント

## Step5-1-1) いよいよ本文へ-症例報告-

### 【症例紹介】

- ✓ どのような症例かを明確に記載する
  - ・診断名
  - ・病歴
  - ・主訴
  - ・リハ介入の目的
  - ・着目したこと
  - ・症例の特徴 など
- ✓ 今回の症例報告の意義を記載できるとより良い

読者が症例の全体像を把握できるような紹介にする

## Step5-1-2) いよいよ本文へ-症例報告-

### 【評価とリーズニング】

- ✓ 評価内容は客観的な数値を用いて記載することを意識する
- ✓ 動作の特徴や症例の傾向など数値に示すことのできない情報も重要  
→長文になりすぎないようにシンプルに記述する
- ✓ 必要な評価結果のみを記載する
- ✓ 評価内容からのリーズニングを端的に示す  
→問題点を明確化し、介入方針を示す

評価からの思考過程を読み取れる内容にすることが大切

## Step5-1-3) いよいよ本文へ-症例報告-

### 【介入と結果】

- ✓ 問題点に対して実施した介入内容を示す  
→介入内容は一般的な用語を用いることが大切
- ✓ 介入による変化を時系列に沿って記載する
- ✓ 介入による変化は、可能な限り客観的な数値を用いて示すことが重要  
→数値では示すことのできない動作の変化なども大切
- ✓ ADLや主訴の変化、目標の達成有無などの情報も

どんな介入をして、どんな結果になったのかを伝える

## 抄録で書いたことを

- ✓ 見やすく示す (表などを上手に使うことが大切)
- ✓ 文字や数字だけでなく、姿勢や動作などの写真も用いて示す
- ✓ 経過や変化を分かりやすく示す

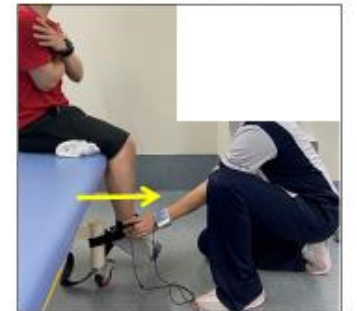
# 動作評価や治療内容のポイント

- ✓ 言葉で伝えるのには限界がある
- ✓ 動作や治療場面を示すのに写真や図を上手に使用する

## 写真撮影のポイント

- ✓ 背景を考慮すべき
- ✓ 明るさに注意
- ✓ 撮影方向も大切
- ✓ 写真内に文字や線を入れて工夫する
- ✓ 顔や個人情報・服装などを配慮

etc...



細かな配慮がクオリティに大きく影響します

# 症例報告 -考察-のポイント

## Step5-1-4) いよいよ本文へ -症例報告-

### 【結論】

- ✓ 本症例のまとめ
- ✓ なぜそうなったのかについての考察を記述する
- ✓ 先行研究の引用や一般的な臨床成績との比較を踏まえることも重要
- ✓ 他症例への応用可能性、同一属性への一般化可能性についても考察できるとより良い

結果から言えること・言いたいことをまとめる

抄録で示したことをより詳細に分かりやすく表現する

# その他：改行のポイント

✓ 文章が途中で切れる改行は非常に見にくい = 伝わらない

## パターン1

Conclusion	まとめ
	<ul style="list-style-type: none"><li>➤ 演題増加および若手理学療法士への情報提供目的に事前勉強会として抄録の書き方講座を開催した。</li><li>➤ 参加者は137名と多くの方に参加していただいた。</li><li>➤ 若手理学療法士だけでなく、6年目以上の方々の参加も多く、抄録の書き方講座の需要の高さが明らかとなった。</li><li>➤ 大阪府外からも多くの方に参加していただき、満足度は100%越えであり講座の開催は有用であった。</li></ul>

## パターン2

Conclusion	まとめ
	<ul style="list-style-type: none"><li>➤ 事前勉強会として抄録の書き方講座を開催した。</li><li>➤ 参加者は137名と多くの方に参加していただいた。</li><li>➤ 6年目以上の方々の参加も多く、抄録の書き方講座の需要の高さが明らかとなった。</li><li>➤ 大阪府外からも多くの方に参加していただいた。</li><li>➤ 満足度は100%越えあり講座の開催は有用であった。</li></ul>

おススメは  
パターン2のスライド

中途半端な改行にならないように工夫する  
(サイズの工夫・言葉の工夫・配置の工夫などを用いて)



# その他：アニメーションのポイント

- ✓ 上手なアニメーションの使用は分かりやすく伝えるために有用  
ただし、  
「**不要な**アニメーション」  
「**派手な**アニメーション」は避けるべき (伝わりにくくなる可能性あり)
- ✓ 説明する順番に出していくと分かりやすい!?
- ✓ おすすめは「フェード」(シンプルで使いやすい)

上手に使うことがポイント





# その他：利益相反(COI)の開示のポイント

## COIなし

### 第34回大阪府理学療法学術大会 COI開示

発表者名：稲田竜太、知花朝恒、植田耕造、松木明好

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある  
企業などはありません

## COIあり

### 第34回大阪府理学療法学術大会 COI開示

発表者名：稲田竜太、知花朝恒、植田耕造、松木明好

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業などとして、

- |              |          |
|--------------|----------|
| ①顧問：         | なし       |
| ②株保有・利益：     | なし       |
| ③特許使用料：      | なし       |
| ④講演料：        | なし       |
| ⑤講演料         | なし       |
| ⑥受託研究・共同研究費： | 〇〇製薬     |
| ⑦奨学寄附金       | 〇〇製薬     |
| ⑧寄付講座所属      | あり(〇〇製薬) |
| ⑨贈答品などの報酬    | なし       |

COIなしのことが多い

# その他：スライド作成の注意点

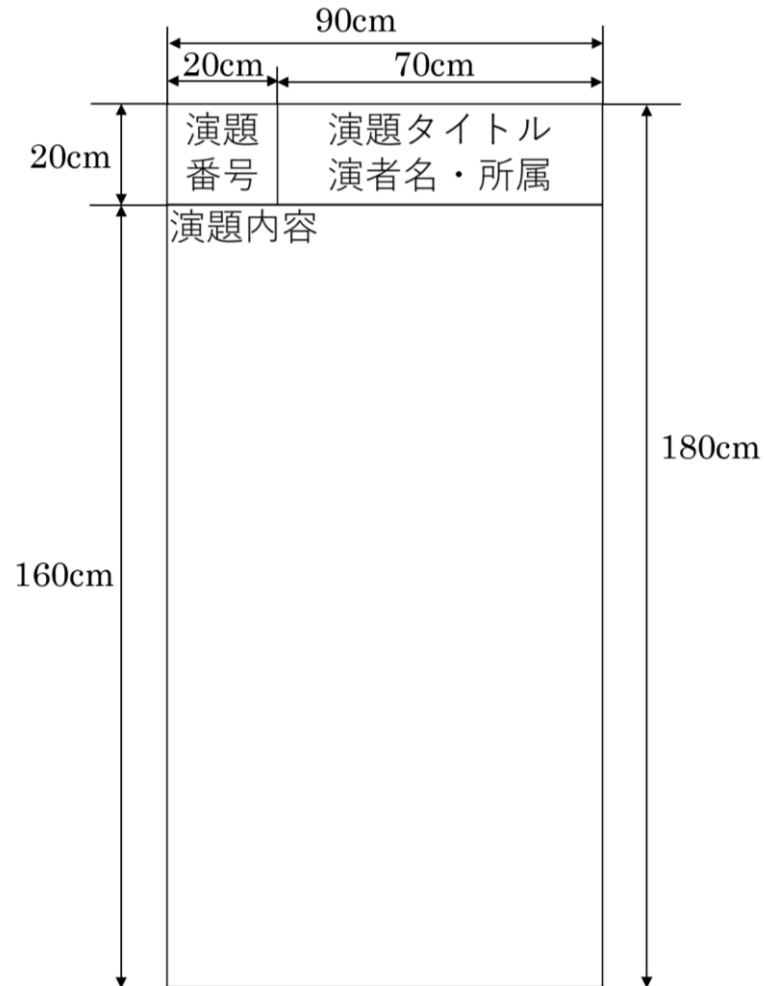
- ✓ Live配信では右上に演者のビデオ映像が映りこみます



演者映像の部分に  
文字が被らないような  
配慮をお願いします

# ポスター作成のポイント

## 学会会場での掲示Ver.



## eポスターでの掲示Ver.



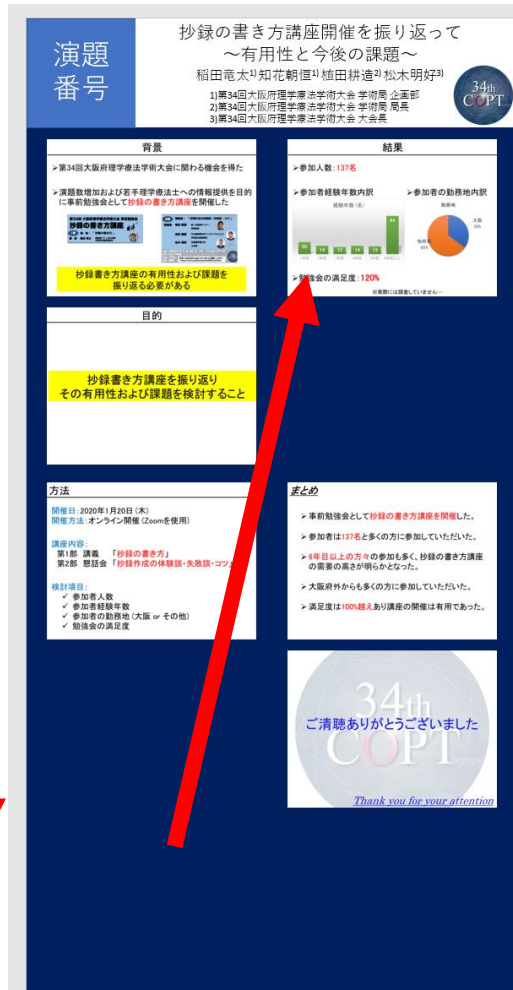
# ポスター作成のポイント

- ✓ ポスターのタイプは2種類
- タイプ1: **スライド配列型**

- ✓ 通常サイズで作成したものを配列していく
- ✓ 左上から右下に向けて進めていく
- ✓ スライド枚数に規定なし
- ✓ 背景色やバランスに注意する

※左図は一例です

**一枚一枚のスライドをしっかりと作ることが重要**



# ポスター作成のポイント

## ✓ ポスターのタイプは2種類

### タイプ2:フリーレイアウト型



✓ 全体を自由に使って作成していく

✓ レイアウトの工夫が重要

✓ 色合いも重要なポイント

✓ タイプ2の方がポスター発表らしさを出しやすい!?

※左図は一例です

見やすさ・カッコよさが重要なポイント

# 引用文献記載のポイント

- ✓ 論文の引用：著者名・雑誌名・年代を記載する

例) 大阪ら, 理学療法学 2022  
Osaka et al, JPTA 2022


- ✓ 書籍の引用：著者名・書籍名・出版社・年代を記載する

例) 大阪太郎, 抄録作成の手引き. 大阪出版 2022

- ✓ 学会抄録の引用は控えるべき

記載方法を統一することがポイント

# 発表資料作成手順のポイント

- 
- ✓ まずは資料のフォーマットを整える
  - ✓ 各項目ごとにアウトラインをざっくり作成  
(何を伝えるのかをメモ程度で...)
  - ✓ 作成しやすいところを随時進めていく  
「方法・結果」「症例紹介～最終評価」からが作成しやすい!?
  - ✓ 徐々にデテールにこだわって作成・修正を繰り返す
  - ✓ プレゼンすることもある考えながら微調整  
(アニメーションなど)

# 発表資料作成が上手になるポイント

- ✓ 日頃からパワーポイントでの資料作成に取り組む  
⇒ 上手に見せる様々な小技を習得する
- ✓ 積極的に学会参加する  
⇒ 発表者の資料から「キレイなデザイン」や「見せ方」を学ぶ

etc...



The 34th Congress of Osaka Physical Therapy  
第34回 大阪府理学療法学術大会  
大会テーマ 「生涯学習」 - その成果 -  
2022年7月3日(日) 会場 大阪国際会議場 & web  
大賞 松本 明好 (四條学園大学)  
大賞 三谷 保弘 (関西福祉科学大学)  
大賞 西川 篤史 (野崎花洲会病院・大阪府理学療法士会会長)  
一般社団法人 大阪府理学療法士会 研究センター  
公益社団法人 大阪府理学療法士会  
基調講演 「生涯学習 その成果」  
松本 明好 (四條学園大学)  
特別講演 「リハビリテーションの現在地と未来」  
長谷 公隆 (関西医科大学 リハビリテーション医学講座)  
教育講演 「老年期理学療法のエビデンス」  
永井 宏達 (兵庫医科大学)  
シンポジウム 「エビデンスをどう作って、どう活用するのか」  
運動部：木村 佳記 (大阪大学医学部附属病院)  
循環器：松津 弘太郎 (枚方市立病院)  
神経：三階堂 泰隆 (大阪医科大学病院)  
一般演題 研究報告 / 症例報告 / 実証報告 / 卒業研究演題  
演題募集 2022年1月15日～3月24日(正午)まで  
※募集要項の詳細は各学会大会ホームページにてご覧下さい  
主催 第34回大阪府理学療法学術大会 事務局  
〒545-0023 大阪市東淀川区東中津 1-4-12 豊後ビル4F 401号  
TEL 06-6942-7233 FAX 06-6942-7211  
E-mail 34opt@opt.or.jp  
学術大会HPはこちら  
https://confit.atlas.jp/opt34

ぜひ参加して、  
今後の資料作りに向けた情報収集も兼ねてください



# 発表に向けたスケジュールリングのポイント

時間に余裕をもって進めていくことが大切

✓ 採否通知 (2022年5月10日予定)

資料提出まで  
約1カ月!!

- ✓ 予演会
- ✓ オンデマンド配信用の収録
- ✓ 発表資料の提出(2022年6月21日)
- ✓ **発表当日** (2022年7月3日)

- ✓ 共同演者に随時チェックしてもらう
- ✓ 作成&修正の繰り返し
- ✓ 発表原稿の作成も忘れずに!!  
(発表練習もしっかりと)
- ✓ 質問対策も入念に

# 発表資料チェックのポイント

- ✓ 誤字脱字チェックは必須
- ✓ 資料と原稿の読み合わせで違和感がないかをチェック
- ✓ アニメーションのタイミングは案外大切
- ✓ できるだけ色々な人に聞いてもらう
- ✓ 実際にスクリーンに投影して、見栄え(文字の大きさなど)を確認するのも重要

ケアレスミスはもったいない!!

# 発表資料作成のポイント -準備委員長からの一言-

発表資料はあなたの『**熱意**』と『**努力**』を伝えるツールの1つです。  
見る人の目線に立って、丁寧かつ簡潔に想いを表現してみてください。  
あなたの『**熱意**』に共感してくれる人に出会えるかも知れません。

By 準備委員長 西川篤史先生

# 終わりに

**「発表資料作成のポイント」**が  
少しでも役に立てば嬉しい限りです

皆さんの素晴らしい発表を  
スタッフ一同、心より楽しみにしています



※資料内のスライドデザインは一例ですので、指定(強制)するものではありません